

社会学演習Ⅳ

科目ナンバリング SEM-402
必修 2単位

李 永淑

1. 授業の概要(ねらい)

本演習では、ボランティア活動を通じた「無関係な他者」との関わりあいから、「自分事」と「他人事」をどのように社会化していくことができるのかを考え、受講生各自のボランティア論を構築することを目指していきます。具体的には、受講生自身の「想い」を社会的な問いとしてとらえなおし、調査や先行研究をもとに論理的な主張を展開し、それを卒業研究・卒業論文という形にすることを目標とします。

そのために、社会学演習Ⅱでは、受講生が実際に経験したり遭遇した「もやもやした出来事」を題材として、フォーラムシアター(演劇討論)を行い、自覚的・無自覚的な社会への違和感を、自身の身体で感じて表現し、他の価値観と突き合わせたり、他人事を自分事として社会化する手がかりを模索します。

そのうえで、教科書を用いて、自身が主張したい「想い」を、客観的なデータを元に論証することについて理解します。そして、執筆要綱などの論文執筆において求められる形式に沿って、わかりやすく正しい日本語を用いて書く能力の獲得を目指します。

2. 授業の到達目標

- ・日常生活のなかで「問い」を立てることができる。
- ・自分の考えを口頭・及び文章で具体的かつ論理的に説明することができる。
- ・専門的な文献を読解する力を身につける。
- ・卒業研究・卒業論文執筆のための基礎的な能力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加状況とコメントペーパー(50%)、課題提出(50%)から、総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

前田拓也(著)、秋谷直矩(著)、朴 沙羅(著)、木下 衆(著) 最強の社会調査入門 ナカニシヤ出版

5. 準備学修の内容

- ・活動フィールドや関心のある分野に関連する文献を探して読み、それらはリストとして整理しておくこと。
- ・「市民参加・ボランティア論Ⅱ」「公共社会学Ⅱ」「地域問題論」を履修することが望ましい。

6. その他履修上の注意事項

- ・本演習では、事前課題を課したり、議論や発表、グループワークを多く行います。したがって、遅刻・欠席、課題の未提出、報告の欠席は、単位が認定できないだけでなく、授業の進行も妨げますので、やむを得ない事情(学生便覧参照)以外は原則として認めません。
- ・発表準備・事前準備をしっかりと行うこと。
- ・課題の提出や共有、連絡等はLMSを使用します。随時確認してください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------------------|
| 【第1回】 | 夏期休暇中の課題(レポート)提出と発表
秋学期のガイダンス |
| 【第2回】 | 発表と議論 |
| 【第3回】 | 発表と議論 |
| 【第4回】 | 発表と議論 |
| 【第5回】 | 発表と議論 |
| 【第6回】 | 発表と議論 |
| 【第7回】 | 発表と議論 |
| 【第8回】 | 発表と議論 |
| 【第9回】 | 中間のまとめ |
| 【第10回】 | 発表と議論 |
| 【第11回】 | 発表と議論 |
| 【第12回】 | 発表と議論 |
| 【第13回】 | 発表と議論 |
| 【第14回】 | 発表と議論 |
| 【第15回】 | まとめ |